

令和6年度活動計画

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

令和6年度は第8回食の新潟国際賞の表彰事業を開催し、国内外からの食と農の情報収集と新潟の発信に努めるとともに、この機会を活用して国内外の関係機関・団体・研究機関等とのネットワークを拡大し、併せて国際賞の広報活動を通じて財団と国際賞の知名度アップを図る。

今年は財団創立15周年の年に当たることから、これまでの活動を振り返り、15年の活動記録をまとめた記念誌の発行や記念講演会・会員交流会を開催し、創設理念に立ち返り、地域社会への貢献や地域経済発展へ寄与するとともに、会員・企業へ還元する事業活動に取り組む。

また、食の新潟国際賞の冠である佐野藤三郎氏の新潟市名誉市民称号の受章を機に、佐野藤三郎氏の偉業を伝えるとともに、今後の新潟の発展に繋げる活動も実施する。

また、行政や会員・産業界・大学との連携による、食と農をテーマにした学生ビジョンコンテストを継続開催し、学生の農業及び食料についての関心と、財団や食の新潟国際賞への認知度を高め、将来の食と農の分野の人材育成にも寄与する。

引き続きSDGsの普及と取り組みを推進する事業や、食品産業や農業をテーマにした講演会、セミナーを開催し食と農の国内外の情報の収集と発信に努める。

1. 理事会・評議員会・役員懇談会の開催

(1) 理事会開催

定時理事会 (令和6年6月28日、令和7年4月 於:新潟市)

(2) 評議員会開催

定時評議員会 (令和6年7月 於:新潟市)

(3) 役員懇談会の開催

評議員・理事・監事・顧問懇談会 (令和7年2月 於:新潟市)
創立15周年記念講演会・交流会に合わせて開催する。

2. 第8回食の新潟国際賞の受賞者選考と表彰事業の開催

(1) 第1次書類審査(令和6年3月～4月)

選考委員による第1次書類選考

(2)選考委員会の開催、(5月16日(木) 於:東京都内)

第8回国際賞の受賞候補者の選定及び理事会への答申

構成	氏名	所属・職名
委員長	唐木 英明	食の信頼向上を目指す会 代表 東京大学名誉教授
委員	赤阪 清隆	(公財)ニッポンドットコム理事長 元 国連事務次長、国連日本政府代表大使
委員	阿部 啓子	東京大学名誉教授 (一社)バイオインダストリー協会 評議員
委員	今野 正義	日本食糧新聞社 代表取締役会長 CEO
委員	清水 誠	東京大学名誉教授
委員	生源寺眞一	東京大学名誉教授 (公財)日本農業研究所 研究員
委員	西澤 直子	石川県立大学 学長 東京大学名誉教授
委員	平沢 祐子	産経新聞社東京本社 編集企画部 記者 (一社)日本乳業協会 理事
委員	原田 惇	新潟県農業総合研究所 食品研究センター長
委員	青山 浩子	新潟食料農業大学 教授 (公社)日本農業法人協会 理事

第8回食の新潟国際賞 推薦応募数

項目	大賞	佐野藤三郎 特別賞	21世紀希望 賞	地域未来 賞	合計
推薦応募者数	11	9	17	12	49
候補者国籍	8ヶ国 日本、英国、インド、オランダ、オーストラリア、フィリピン、タイ、 ナイジェリア、				

(3)受賞者決定 6月28日(金) 於:新潟市

選考委員会からの受賞候補者から理事会において受賞者を決定する

(4)受賞者発表(7月下旬)

受賞者を財団の広報媒体、報道を通じて正式に発表するとともに、表彰式の開催についてもPRする

- (5)表彰事業の開催 11月20日(水) 於:新潟市 朱鷺メッセ 国際会議室
(表彰式・受賞者記念講演会・祝賀交流パーティー)

月 日(曜)	行 事	会 場
11月19日(火)	受賞者新潟入り リハーサル	ホテル日航新潟 朱鷺メッセ
11月20日(水)		
10:00~11:00	受賞者新潟市長表敬訪問	新潟市役所
14:00~15:00	表彰式	朱鷺メッセ 国際会議室(マ リンホール)
15:00~17:00	記念講演	
17:30~19:30	受賞祝賀交流パーティー	ホテル日航新潟
11月21日(木)	受賞者・市内視察	市内

3. セミナー・講演会・交流会の開催(財団自主事業)

食の新潟国際賞事業の開催を通じた受賞者や団体とのネットワークを生かした専門家や研究者、企業経営者等の講師招聘による講演会・セミナーの開催。

- (1)会員定例オンラインセミナー(年2回)

会員向けの財団のネットワークを生かした講師招聘による「食品」「農業」
SDGs に関する最新情報や先端研究、トレンドをテーマとした開催。

2回程度開催、オンライン

- (2)食の新潟国際賞受賞者 特別講演

講 師 食の新潟国際賞 受賞者(人選中)

開催日 令和7年(予定)

対 象 市民・企業

- (3)第8回食の新潟国際賞受賞者 記念講演

講 師 第8回食の新潟国際賞受賞者

開催日 令和6年11月20日(水)

- (4)財団創立15周年記念講演会・交流会

開催日 令和7年2月

テーマ「世界の食と農の最新情報と新潟の未来と可能性と」(仮題)

4. 食の新潟国際賞財団創立15周年記念事業

財団創立15周年を迎え、これまでの財団の事業活動を総括した活動記録をまとめた記念誌を発行するとともに、20周年に向けての記念講演会と会員の交流事業を開催する

(1) 創立15周年記念誌の発行

内容 財団の設立経緯、役員、事業活動の歴史、国際賞事業と受賞者一覧
発行 令和7年2月

(2) 記念講演会および交流会(再掲)

開催日 令和7年2月
テーマ「世界の食と農の最新情報と新潟の未来と可能性」(仮題)

5. 地域貢献事業の企画および参加協力

(1) SDGs 推進事業

地域創生プラットフォーム(新潟日報社内事務局)への参加と協力

①「SDGs 啓発セミナー」(年間 5回~6回)

②「新潟 SDGs アワード」(令和7年2月開催予定)

「食の新潟国際賞財団 特別賞」を設け特別賞を授与する
アワード記念講演への協力

③関連セミナー・シンポジウムへの協力・参加

(2) 新潟市 J-クレジット普及推進事業への協力

新潟市が推進するJ-クレジットの普及推進に協力するため「新潟市J-クレジット普及推進協議会」に参加し財団会員企業への周知やPR活動などで事業を推進する。

新潟市J-クレジット普及推進活動

温室効果ガスの排出量を国が認証を推進するJ-クレジットを活用し、環境に配慮した持続可能な農業を推進するとともに、プロジェクトで創出したクレジットにより、地域農業や企業の環境保全活動の活性化を図る。

6. 食料産業分野の人材育成と大学との連携促進事業

県内大学生等の食と農への関心高め、県内食料産業の将来を担う人材育成を図るための学生ビジョンコンテストを開催し、新潟県の食品産業や農業などの情報提供や交流事業を開催し、併せて財団や食の新潟国際賞への学生への周知拡大を図る。

(1) 「にいがた食と農の未来」学生ビジョンコンテスト2024の開催

主 催 公益財団法人 食の新潟国際賞財団

運営主体 「にいがた食と農の未来」学生ビジョンコンテスト実行委員会

内 容 新潟県内の大学・大学院・専門学校・農業大学校等の学生・生徒から、県内の食料産業と農業の未来ビジョンをテーマに、提言や意見発表をプレゼンテーション方式で実施するコンテスト。

主な事業 ① オリエンテーション(セミナー)

新潟県の食と農業についてのセミナー

② 新潟県の食と農業についてのセミナー

「食の新潟国際賞の創設と佐野藤三郎氏」

③ 食品企業・農業者への企業視察・オンライン交流

④ コンテスト・決勝大会・表彰式

11月9日(土)新潟日報メディアシップ

表彰:グランプリ、準グランプリ、協賛社特別賞、佐野藤三郎特別賞、奨励賞、食の新潟国際賞財団特別賞

⑤ 交流会

審査員、運営委員、参加学生、財団会員企業、参加校関係者

(2) 特別講演会開催(学生対象)

「新潟の食品産業と農業の歴史と未来」〈仮題〉

(3) 第8回食の新潟国際賞表彰式・記念講演会への招待

学生ビジョンコンテスト入賞者を招待し、国際賞への理解と世界的な食と農の研究や活動への関心を高める。

7. 企画運営委員会活動

財団の運営安定化と積極的な事業活動を展開するために委員会を設置し、財団事業活動への支援・協力や理事会への提言および財団事務局へのサポートを行う。

(1) 委員(会員企業・団体から7名から10名で構成)

(2) 委員会開催数(年3回程度)

(3) 委員名簿(令和6年度)

(順不同・敬称略)

区分	氏名	所属・職名
委員長	大坪 研一	新潟薬科大学 応用生命科学部 特任教授
委員	高橋 肇	亀田製菓(株) 執行役員 食品開発研究所長
委員	浅野 和男	(株)ブルボン 常務取締役 執行役員
委員	高島 正樹	一正蒲鉾(株) 取締役 常務執行役員
委員	西海 理之	新潟大学 農学部長 教授
委員	大塚清一郎	新潟日報社 総合プロデュース室 室長
委員	遠藤 二郎	亀田郷土地改良区 事務局長
委員	高力美由紀	新潟食料農業大学 教授
委員	鈴木 伸作	(公財)食の新潟国際賞財団 常務理事
オブザーバー	高野 好弘	NSGグループ 役員室参与

8. 佐野藤三郎氏顕彰事業

佐野藤三郎氏の新潟市名誉市民称号の受章を機に、その功績を顕彰し広く伝える事業を関係団体(佐野藤三郎生誕100年記念事業実行委員会)の協力のもとに実施する。

(1) 佐野藤三郎氏顕彰事業検討委員会の開催(委員長 財団理事 中山輝也氏)

佐野藤三郎氏を顕彰する事業を検討し財団理事会に提言するとともに事業実施のサポートをする。

佐野藤三郎氏顕彰事業検討委員会名簿

区分	氏名	所属・職名
委員長	中山 輝也	(株)キタック ファウンダー
委員	五十嵐祐司	にいがた22の会 会長
委員	伊藤 忠雄	新潟大学名誉教授
委員	望月 迪洋	「新潟研究」事務所・主宰
委員	原 崇	新潟日報社 論説編集委員
委員	荒木 剛	亀田郷土地改良区 総務課長
委員	村山初太郎	新潟県日中友好協会 事務局長
委員	鈴木 伸作	(公財)食の新潟国際賞財団 常務理事
オブザーバー	古泉 肇	(公財)食の新潟国際賞財団 ファウンダー・特別顧問
	阿部 徳威	亀田郷土地改良区 理事長
事務局	駒形 正明	(公財)食の新潟国際賞財団 事務局長

(2)佐野藤三郎氏を広く伝える事業

佐野藤三郎氏の新潟市名誉市民称号の受章を機に、更に佐野氏の偉業を広く市民に伝える事業を実施する。

特に若者の周知と理解を深めるための事業を新潟市や教育関係者、マスコミなどとの協力を得て実施する。

①佐野藤三郎のマンガの増刷と活用事業

市内学校や関係団体への寄贈。

小・中学生を対象としたマンガ読書感想文などの募集・表彰事業

②佐野藤三郎氏の教材化

佐野藤三郎氏と亀田郷の歴史を学ぶ教材への活用。

新潟市教育委員会の協力と指導の下、佐野氏の偉業を、副読本と佐野氏のマンガ画を活用し名誉市民である佐野氏を子供たちに広く周知を図る。

新潟市社会科副読本(令和6年版)

「わたくしたちの政令市新潟」への掲載により、佐野藤三郎氏の功績や食の新潟国際賞、佐野藤三郎マンガ等が小学生のタブレット端末で視聴可能となった。

③佐野藤三郎氏を伝える出前講座の開催

市民や団体などの要請により開催する、佐野藤三郎氏の偉業と足跡を伝える出前セミナーの開催

④佐野藤三郎氏の足跡を訪ねるバスツアーの開催

新潟市民を対象に佐野藤三郎氏のゆかりのある土地や施設を訪れ、関係者によるミニ講話を通じて名誉市民 佐野藤三郎氏の偉業を知るバスツアーの開催

開催時期:令和6年9月～10月、2回(予定)、各35名

ツアーコース:亀田郷土地改良区・芦沼館→親松排水機場→天寿園

⑤佐野藤三郎氏関連情報紹介のホームページの作成と開設

佐野藤三郎氏の名誉市民称号の授与により佐野藤三郎氏の関心がより高まるのを

機会に、佐野氏をより周知するために、関係する功績や情報などを整理し、内外に発信する専用ホームページ、を関係する団体と共同で制作しリンクする。

掲載内容(案)

佐野藤三郎氏年譜、功績、関係書物、佐野藤三郎マンガなど関連情報資料、紹介映像

⑥佐野藤三郎氏名誉市民受章祝賀会の開催

共 催 :新潟市、佐野藤三郎生誕 100 年記念事業実行委員会

開催時期:令和 6 年秋

新潟市名誉市民称号受章をお祝いする祝賀会を佐野藤三郎生誕 100 年記念事業実行委員会と新潟市との協力で広く市民参加で開催する。

9. 広報活動

(1)ホームページの更新

- ①第8回国際賞受賞者の広報・情報掲載
- ②第 1 回～8回国際賞授賞者の情報掲載
- ③財団・国際賞の紹介
- ④財団事業の広報及び報告
- ⑤佐野藤三郎氏紹介コーナーの新規開設

(2)財団通信(Niigata Award News)

財団の広報誌として事業活動報告や経済情報などを掲載し、寄付企業・賛助会員・個人会員・財団役員・交流協力団体へ送付し、財団活動と国際賞の周知を高め、ネットワークの拡大を図る。

- ①国際賞表彰事業に関する広報や情報発信(ホームページと連動)
- ②財団の事業活動の広報と事業報告
- ③食と農に関する最新情報(財団ネットワーク関係者の寄稿)
- ④財団主催シンポジウム・セミナーなどの講演概要の掲載

(3)食の新潟国際賞紹介・広報(テレビ・新聞)

(4)国際賞及び財団紹介パネルの作成(日本語・英語版)

(5)新潟市内の関係行事に出展し財団・国際賞のPR活動

(6)マスコミとの連携活動(シンポジウム・イベント・表彰事業の共催)

(7)食の新潟国際賞受賞者や選考委員、協力関係機関。団体を通過したPR活動

- (8) SNSを活用した広報の制作・発信
- (9) 財団創立15周年記念誌の発行と配布

10. 資金基盤の確立

寄付金・賛助・個人会員の募集活動。

- ①新会員募集の活動方針や内容を検討し新会員の募集を積極的に行う
- ②役員等の新規会員の紹介による効果的な会員募集活動
- ③財団事業の開催時の会員募集チラシの配布と呼びかけ

11. 食と花の世界フォーラム組織委員会への協力

食と花の世界フォーラム組織委員会へ参加し協力連携し会員へのPRや共同事業に参画する。

「フードメッセ in にいがた 2024」への協力

会 期 令和6年 11月 6日(水)～8日(金)

会 場 朱鷺メッセ 展示ホール(ウェーブマーケット)

12. 産官学ネットワークの構築と事業参加

国内外の国際関係機関・企業・大学・経済関係団体等との連携を図り、共同事業活動に積極的に参加する。

- ①FAO(国連食糧農業機関)、WFP(国連世界食糧計画)、国連大学、(公財)フォーリン・プレスセンター、JICA(国際協力機関)等、国際関係機関・団体との関係強化
- ②国内食品・農業関連分野の国際研究機関とのネットワークと情報収集
- ③県内大学・農業・食品研究機関との連携による事業の開催と連携強化
- ④6次化産業の振興と進行事業への開催と参加
- ⑤公益財団法人古泉財団(代表理事 古泉 肇 氏)との事業協力
- ⑥健康ビジネス協議会や新潟市農業活性化研究センターとの連携協力